

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月9日

鳥取県知事 様

提出者 鳥取県倉吉市中河原532-1  
住所 株式会社 小 鴨  
氏名 代表取締役 菅埜元晴  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0858-48-2088

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

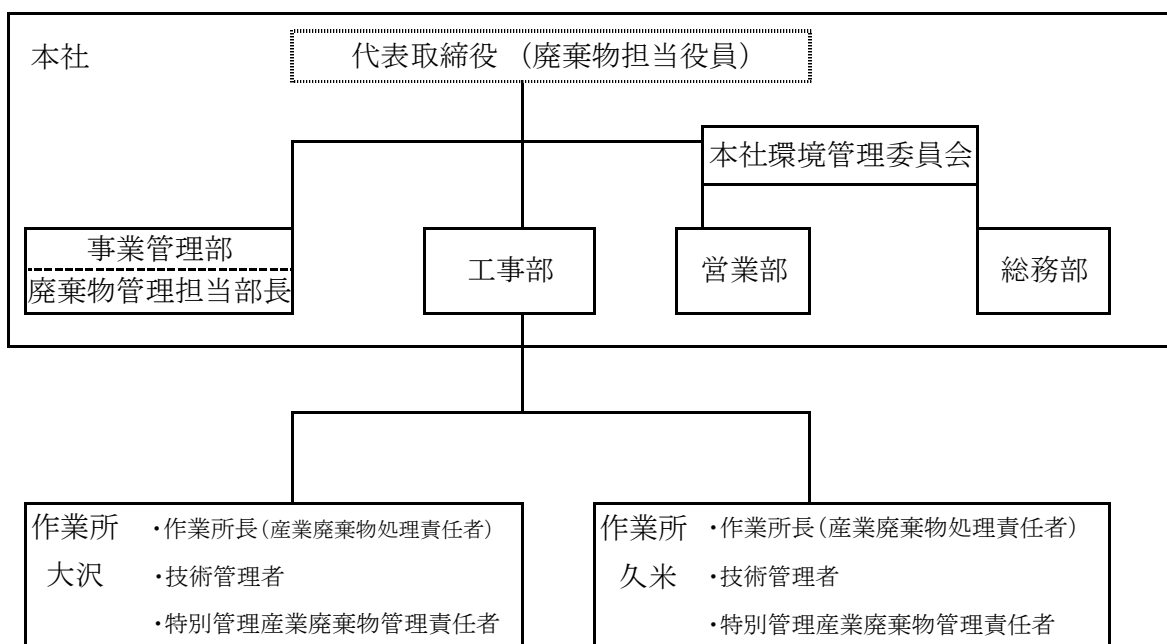
事業場の名称	株式会社 小 鴨
事業場の所在地	鳥取県倉吉市中河原532-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	昨年度の元請完成工事高 19,860万円
③従業員数	48人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 木くず → 再資源化 がれき類、ガラス陶磁器くず、廃プラスチック類、混合、石綿含有 → 埋立 木くず → 焼却 石膏ボード、繊維くず、紙くず、混合、廃プラスチック類、木くず → 委託

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

統括責任者	所属：本社	職・氏名：代表取締役 菅埜元晴
廃棄物担当	組織名：環境管理課	組織人数：3人
役割	環境管理委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－社長 ・委員－関連部署部課長、各作業所長 ・事務局－事業管理部環境管理課
	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物管理規定の策定、改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	担当課	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の交付、管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連企業に対する教育、啓発 ○各作業所に対する情報提供、支援及び指導 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	[前年度(令和5年度)実績]							
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック類	混合	石綿含有	木くず	石膏ボード
	排出量	3098.29t	150.03t	62.48t	256.236t	8.28t	436.43t	29.048t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃油	蛍光管	乾電池	強酸	強アルカリ	汚泥
	排出量	5.166t	0.036t	0.2856t	0.059t	0.5t	0.25t	0.088t
	産業廃棄物の種類	水銀体温計	廃タイヤ					
	排出量	0.028t	2.78t					
(これまでに実施した取組) 分別解体に努力した。								
②計画	[目標]							
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック類	混合	石綿含有	木くず	石膏ボード
	排出量	2974t	144t	60t	246t	8t	419t	28t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃油	蛍光管	乾電池	強酸	強アルカリ	汚泥
	排出量	5t	0.034t	0.27t	0.056t	0.48t	0.24t	0.084t
	産業廃棄物の種類	水銀体温計	廃タイヤ					
	排出量	0.026t	2.66t					
(今後実施する予定の取組) 今後も更に分別解体に努力する。								

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  木材の分別に注意して、大きい部材での解体をする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) プラスチックの分別を行い、再生する量を多くする。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	[前年度(令和5年度)実績]							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1776.19t	320.2t					
	(これまでに実施した取組) 再生利用のための分別を徹底する。							
②計画	[目標]							
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1705t	307t					
	(今後実施する予定の取組) 今後も更に、再生利用のための分別を徹底する。							

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	[前年度(令和5年度)実績]							
	産業廃棄物の種類	木くず						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	55.19t						
	(これまでに実施した取組) 木くずの焼却処理を減らす							
②計画	[目標]							
	産業廃棄物の種類	木くず						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t						
	(今後実施する予定の取組) 木材の分別では、再生利用できるよう大きい部材での解体をする。							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	[前年度(令和5年度)実績]							
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック類	混合	石綿含有		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	338.11t	150.03t	62.48t	228.68t	8.28t		
	(これまでに実施した取組) 再生可能なものが混じらないようにしている。							
	②計画	[目標]						
産業廃棄物の種類		がれき類	ガラス陶磁器	廃プラスチック類	混合	石綿含有		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		324t	144t	60t	219t	8t		
(今後実施する予定の取組) 更に分別を徹底し、混合廃棄物となる割合の低減を図る。								

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	[前年度(令和5年度)実績]							
	産業廃棄物の種類	混合	木くず	石膏ボード	繊維くず	がれき類	廃油	蛍光管
	全処理委託量	27.556t	58.09t	29.048t	5.166t	983.99t	0.036t	0.2856t
		強酸	強アルカリ	乾電池	水銀体温計	汚泥	廃タイヤ	
		0.5t	0.25t	0.059t	0.028t	0.088t	2.78t	
	優良認定処理業者への 処理委託量							
	再生利用業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量							
(これまでに実施した取組)								
②計画	[目標]							
	産業廃棄物の種類	混合	木くず	石膏ボード	繊維くず	がれき類	廃油	蛍光管
	全処理委託量	26t	55t	27t	5t	944t	0.034t	0.27t
		強酸	強アルカリ	乾電池	水銀体温計	汚泥	廃タイヤ	
		0.48t	0.24t	0.056t	0.026t	0.084t	2.66t	
	優良認定処理業者への 処理委託量							
	再生利用業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量							
(今後実施する予定の取組)								
※事務処理欄								

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。